

登録No. S-029
登録名 Vinorelbine療法
催吐性リスク 最小度
適応疾患 乳癌
投与スケジュール

	薬剤	投与量	最大投与量	投与日	投与経路	投与時間	備考
Rp.1	ビノレルビン 生食	25mg/m ² 50mL/body		d1・8	末梢d.i.v.	5min	シリンジポンプ使用
Rp.2	生食	250mL/body		d1・8	末梢d.i.v.	全開	フラッシュ用

1クールの間 3週間

その他（副作用・PS）

副作用： 血管炎の危険性あり、漏出に注意を要する。フラッシュをよく行い、短時間で投与する。
減量・中止基準： 白血球数<2000
好中球減少がある場合ビノレルビンを20mg/m²に減量。